

【対象者】

毎年度、県内で母子健康手帳を交付された方、調査期間内に県外で母子健康手帳を交付され、県内で里帰り分娩をされた方。

調査年度	対象者	ご回答数	
2011年度	1万6001人	9316人 (58.2%)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 出産約4年後に フォローアップ調査を実施 </div>
2012年度	1万4516人	7181人 (49.5%)	
2013年度	1万5218人	7260人 (47.7%)	
2014年度	1万5125人	7132人 (47.2%)	
2015年度	1万4572人	7031人 (48.3%)	
2016年度	1万4154人	7326人 (51.8%)	
2017年度	1万3552人	6449人 (47.6%)	

対象者	ご回答数	
7252人	2554人 (35.2%)	
5602人	2021人 (36.1%)	
5734人	2706人 (47.2%)	

【調査方法】

対象となる妊産婦の方へ調査票をお送りし、回答いただきます。
(2016年度調査より、回答は郵送またはオンラインで受付)

主な調査項目は、次のとおりです。

- ・妊産婦のこころの健康度
- ・現在の生活状況（避難生活、家族離散の状況）
- ・出産状況や妊娠経過中の妊産婦の健康状態
- ・育児の自信
- ・次回妊娠に対する意識

福島県立医大放射線医学県民健康管理センターウェブサイト、第34回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

対象となる方は、新たに母子健康手帳を福島県内で交付された方、調査期間内に福島県外で交付を受け、県内で里帰り分娩をされた方です。

前者に該当する方は、県内の市町村の情報提供に基づき、後者に該当する方については、福島県内産科医療機関に置いてある調査票をご利用いただくか、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターへご連絡いただき調査票をお送りしています。

調査は、自記式調査票に回答後、ご返送いただく形で行っています。2016年度調査より、オンラインでも回答いただけるようになりました。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2020年3月31日